

# NEWS RELEASE

電子管事業の生産能力増強のため  
豊岡製作所に新棟を建設  
地鎮祭は5月19日

2021年5月17日  
**浜松ホトニクス株式会社**  
本社：浜松市中区砂山町 325-6  
代表取締役社長：晝馬 明(ひるま あきら)

当社は、マイクロフォーカスX線源（以下、MFX）をはじめとする電子管製品の売り上げ拡大に対応するため、豊岡製作所（磐田市下神増）に第11棟を建設します。

新棟建設の地鎮祭は5月19日（水）に執り行い、2023年1月に竣工の予定です。



当社は、医用や産業、分析、計測、学術などの幅広い分野に光電子増倍管やイメージ機器、光源などの電子管製品を販売しています。

今後も各製品の売り上げが順調に増加すると見込んでおりますが、イメージ機器においては、電気自動車向けバッテリーやデータサーバー向け電子基板の非破壊検査に用いられるMFXの需要が急拡大し、生産能力の増強が急務となっています。また、印刷、殺菌向け低エネルギー電子線照射源のEB-ENGINEや、X線画像を可視像に変換する医療向けシンチレータの売り上げ増加も見込まれるほか、空港での爆発物検査装置などに使われるマイクロチャンネルプレート（以下、MCP）の市場投入を予定していることなどから、電子管事業全体の売り上げが今後5年間で約170億円増加すると見込んでいます。このため、新棟を建設し生産能力を増強することで売り上げ拡大に対応します。

新棟では、EB-ENGINEやMCPに加え、各種光源の開発、製造機能を移転し、生産能力を高めるとともに、今後の需要増加に対応するためのスペースを確保します。また、移転により発生する既存棟の空きスペースを利用し、MFXの生産スペースを大きく拡張するほか、シンチレータの生産能力も増強します。

地鎮祭および新棟の概要につきましては以下の通りです。

## <地鎮祭>

式典名称 浜松ホトニクス株式会社 豊岡製作所第11棟 地鎮祭  
日 時 2021年5月19日（水） 午前10時00分～  
場 所 静岡県磐田市下神増314番地の5 豊岡製作所内

## <新棟概要>

建物名称	豊岡製作所 第11棟
建築場所	静岡県磐田市下神増314番地の5 豊岡製作所内
建築工期	2021年5月着工、2023年1月竣工予定
稼働予定	2023年2月
建築構造	鉄骨造 地上4階
建物面積	建築面積 7,091㎡、延床面積 23,880㎡
施設構成	1階 製造エリア（一部クリーンルーム） 2階 製造エリア（一部クリーンルーム） 3階 製造エリア（一部クリーンルーム） 4階 食堂
総工費	約93億円
収容人員	約200名
生産品目	EB-ENGINE、MCP、各種光源

以上



**豊岡製作所 第11棟 完成予想図**

<この件に関するお問い合わせ先>

■報道関係の方 浜松ホトニクス株式会社 広報室 野末迪隆  
〒430-8587 浜松市中区砂山町 325-6 日本生命浜松駅前ビル  
TEL053-452-2141 FAX053-456-7888 E-mail:nozue-m@hq.hpk.co.jp  
時間外は、携帯電話 080-8262-0374 へお願いします